

## 予防接種対象者年齢表

★予防接種は接種が可能になったら早期に接種しましょう！

種類と接種回数		実施場所	内は予防接種を受けられる年齢												内は予防接種を受けるのに最も望ましい年齢				
			6週	2か	3か	6か	9か	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳
B型肝炎 不活化ワクチン	定期	2回+1回	委託医療機関		生後2か月～		7か月～(注1)												
	定期	1価：2回(注2) 5価：3回(注2)	委託医療機関		生後2か月～														
肺炎球菌 不活化ワクチン	定期	※原則 初回3回 追加1回	委託医療機関		生後2か月～					追加接種 1歳以上									
五種混合 (DPT-IPV-Hib) ジフテリア 百日咳 破傷風 ポリオ (IPV) Hib ※R6.4.1以降に初回接種した場合 不活化ワクチン	定期	初回3回 追加1回	委託医療機関		生後2か月～					4回目 1歳以上		(注3)		生後9か月未満				二混 (DT) (注4)	
四種混合 (DPT-IPV) ジフテリア 百日咳 破傷風 ポリオ (IPV) ※R6.3.31以前に初回接種した場合 不活化ワクチン	定期	初回3回 追加1回	委託医療機関		生後2か月～					4回目 1歳以上		(注3)		生後9か月未満				二混 (DT) (注4)	
Hib (インフルエンザ菌b型) ※R6.3.31以前に初回接種した場合 不活化ワクチン	定期	※原則 初回3回 追加1回	委託医療機関		生後2か月～					追加接種 1歳以上				5歳未満					
BCG 生ワクチン	定期	1回	各区保健センター				生後5～8 か月未満												
インフルエンザ 不活化ワクチン	任意	毎年2回	医療機関									毎年、10月～11月頃に							
MR (麻しん風しん混合) 生ワクチン	定期	2回	委託医療機関							生後12～24か月未満				5～7歳のうち、就学前年度の 4/1～3/31 (幼稚園の年長児)					
水痘 (みずぼうそう) 生ワクチン	定期	2回	委託医療機関									生後12～36か月未満							
おたふくかぜ (流行性耳下腺炎) 生ワクチン	任意	1(2)回	医療機関							(注6)		(注5)							
日本脳炎 不活化ワクチン	定期	3回+1回	委託医療機関									3歳	4歳					追加接種 9～12歳	

- (注1) B型肝炎ワクチンは1歳までに3回接種が必要。3回目の接種は初回から20～24週あけて打ちます。  
 (注2) ロタウイルスワクチンには1価ワクチン(ロタリックス®)と5価ワクチン(ロタテック®)があります。いずれのワクチンの場合も初回接種は14週6日までに受けてください。  
 (注3) 学童期以降の百日咳とポリオに対する免疫を維持するために、日本小児科学会では就学前の3種混合・不活化ポリオワクチンの追加接種を推奨しています。  
 (注4) 百日咳予防のため日本小児科学会では二種混合ワクチンの代わりに三種混合ワクチンの接種が可能であるとしています。ただしこの場合は任意接種(有料)となります。  
 (注5) 予防効果を確実にするために2回接種が望ましいです。  
 (注6) 1歳以上3歳未満で初めて接種する方へは、札幌市から3,000円の補助があります。(委託医療機関の場合)

生ワクチン      ロタウイルスワクチンを除く生ワクチン同士の接種間隔は、中27日以上  
 不活化ワクチン      それ以外のワクチン接種に関しては接種間隔の制限はありません。

★新型コロナウイルス感染症の影響により予防接種を受けられなかった場合には、規定の接種期間を過ぎても定期予防接種として公費助成により接種できる場合がありますので、医療機関にご相談ください。